

一般的な HIV 検査とはどのようなものですか？- HIV 検査、パート 4

一般的に次の 3 つの HIV 検査があります：

- 抗体検査
- 抗原・抗体検査と呼ばれる同時検査
- NAT と呼ばれる核酸増幅検査



各検査には異なったウィンドウ期が設定されているため、HIV 感染後に感染を検出できるまでの期間は異なります。ウィンドウ期とは、HIV に感染した瞬間から検査で検出されるレベルになるまでの期間を指します。

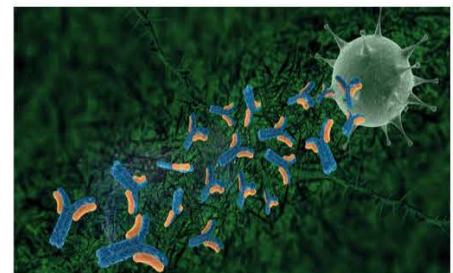
ウィンドウ期中に受けた HIV 検査結果が陰性であっても、HIV 感染の疑いのある時期から 3 カ月後に再検査を受ける必要があります。p このように繰り返し検査を受けることで、ウィンドウ期後に（どのような HIV 検査であっても）確実に HIV 感染を確認することができます。



抗体検査は、血液中または口内液中の HIV 抗体を検査するものです。HIV 抗体は病原体と闘うタンパク質で、HIV の感染に反応して生成されます。抗体検査で HIV 感染を検出するのに十分な抗体を身体が生成するには、3～12 週間かかります。

同時検査は抗原・抗体検査とも呼ばれています。この検査では、血液中の HIV 抗体と HIV 抗原を検出することができます。抗原とはウイルス自体の一部です。同時検査で HIV 感染を検出するのに十分な抗原と抗体を生成するには、2～6 週間かかります。現在、同時検査は HIV 臨床検査として推奨されているため、最も一般的な HIV 血液検査になりつつあります。

NAT 検査、つまり核酸増幅検査では血液中の HIV を検査します。これらの検査は RNA 検査またはウイルス量検査とも呼ばれます。NAT 検査では、HIV に感染して 7～28 日後に HIV 感染を検出できます。NAT 検査は非常に費用がかかるため、HIV 感染リスクの高い場合を除き、実施される機会は多くありません。



自宅での HIV 検査

自宅での実施が認可されている HIV 検査には、「Home Access HIV-1 Test System」と「OraQuick In-Home HIV Test」の2つがあります。2つとも抗体検査です。

「Home Access HIV-1 Test System」では：

- 血液サンプルの採取ために指を刺す
- 検査用に医療機関にサンプルを送る
- 翌日の早い時間に検査結果を電話で確認する

結果が HIV 陽性の場合、医療機関は同じ血液を使用して再検査を行い、最初の検査結果である陽性が間違いないことを確認します。



「OraQuick In-Home HIV Test」には検査用にスティック、チューブ、溶液が付いてきます。検査用スティックは口内のサンプルを採取するために使用します。検査用スティックを検査チューブに差し込むと 20 分以内に結果がわかります。自宅での

検査が陽性だった場合、医療機関にて必ず再検査を行ってください。この検査では、HIV 感染者の 12 人の内 1 人は陰性という結果になります。これは偽陰性として知られています。

HIV/エイズに関して疑問がある場合は、必ず解決してください。公衆衛生局または医療機関に問い合わせるか、公共図書館にてお調べください。



Text is from HIV/AIDS sources from the Department of Health and Human Services and adapted by HealthReach and Healthy Roads Media. This project has been funded in whole or in part with Federal funds by the National Library of Medicine award number HHSN2762015000111 awarded to the Center for Public Service Communications. Images from iStock.com.